



ユーモアを交えた講演で会場を盛り上げた樋渡市長

## やろうと思えば何でもできる

### 佐賀県武雄市 樋渡啓祐市長

佐賀県武雄市の樋渡啓祐市長が9月24日、総合福祉センターで、「フロンティアレポリューション～辺境から革命を！～」と題して講演しました。市民や市職員ら約200人が参加。パワーとスピード感あふれる樋渡市長の話に引き込まれていました。

樋渡市長は、市図書館をレンタルビデオ大手「TSUTAYA」を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社に運営委託したことをはじめ、市民病院の民営化やインターネット通販での特産品の販売など、全国に先駆けた取り組みを紹介。「『攻めの行政』、『稼ぐ自治体』、『儲かる自治体』を主眼に置き、成功するまでやる」と熱弁しました。

## ミニフォト

### きよね夢てらす 10周年記念



美声で観衆を魅了するあみさん

NPO法人きよね夢てらすの発足10周年を記念し、総社市出身の歌手あみさんのコンサートが10月5日、きよね夢てらすで開かれました。約80人の観衆は、アットホームな雰囲気の中、あみさんの歌とトークを楽しみました。

### 100歳おめでとう



家族に囲まれる小西さん

小雪枝さん（駅前一丁目）が9月18日に満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。漢字や計算のドリルが日課という小西さん。長寿の秘訣は、今でも家事や身の回りのことを自分でしていることだそうです。

### 力の限界に挑戦



力石を持ち上げる

9月28日、毎年恒例の力石総社が総社宮で開かれ、子どもから大人まで約150人が力自慢を競いました。参加者は観客からの声援を力に変え、自分の限界に挑戦。重い石を次々に持ち上げる様子に会場は大いに盛り上がりました。

### リンリン点検隊が総社南高校へ



安全運行するための点検

秋の交通安全県民運動の一環として、総社二輪車協会の会員（リンリン点検隊）による無料安全点検が9月24日、総社南高校で行われました。同校生徒の自転車221台のタイヤの空気圧やベル・反射材の有無などを点検しました。

### 消火技術訓練大会



火元をねらい消火する

火器の基本的な取り扱いと操作を競う消火技術訓練大会が10月3日、消防庁舎グラウンドで開かれました。市内の事業所や介護施設などの参加者は、火災発生の通報や火元を消火器で消火する訓練に真剣に取り組んでいました。

### 県高等学校備北地区演劇発表会



優秀賞に輝いた総社高校の演技

岡山県高等学校演劇発表会が9月29日、市民会館で開催されました。備北地区の高校3校が出演。生徒たちは日ごろの練習の成果を発揮し、熱のこもった演技を披露していました。優秀賞に選ばれた総社高校は県大会に出場します。

## 市民の力で実現

### 市指定ごみ袋値下げ

10月1日から市指定ごみ袋の値下げがスタートしました。平成22年10月に市指定ごみ袋販売額の「変動相場制」を導入してから3年で、家庭ごみ排出量が、半額前と比べ7.7%減量。この市民の努力の結果を踏まえ、ごみ袋販売額を7.7%値下げすることになったものです。

1組（10枚入り）の販売額は45%が230円に、30%が140円に、20%が90円に値下げ。10%については現行（50円）のままです。



値下げされたごみ袋を買い求める人



最優秀賞「円らな瞳」 吉田昌康さん（倉敷市）



最優秀賞 馬場雄司くん（常盤小6年）

## 市の鳥・タンチョウを描写

### フォトコンテスト・写生画コンクール

市の鳥タンチョウを題材としたフォトコンテスト（総社市民憲章を唱和・実践する会主催）の最優秀賞に吉田昌康さん（倉敷市）の「円らな瞳」が選ばれたほか入賞作品17点が決まりました。市内外の73人から134点の応募があり、最優秀賞の作品は、タンチョウの親子の絆が感じられ、自然の要素がうまく取り込まれている点が評価されました。

市主催で写生画コンクールも開催され、最優秀賞

▲フォトコンテスト最優秀賞の写真 ▶写生画コンクールの最優秀賞の作品

に馬場雄司くん（常盤小学校6年）の作品が選ばれました。市内の小・中学生から61点の応募があり、最優秀賞を含む入賞作品17点が決定。馬場くんの作品は、タンチョウへの愛着が感じられ、影や濃淡なども巧みに使っていていきいきと描かれている点が評価されました。

これらの入賞作品は12月1日まできびじつるの里で展示しています。

### 親子で交通安全教室



危険な場所を教える山口さん

レーシングライダーの山口辰也さんによる「親子で交通安全教室」が9月17日、池田、山田、新本幼稚園で行われました。参加した親子約60人は、山口さんが考案した交通安全キットで、危険を予測しながら行動することを学びました。

### そば祭りに向け順調



白いじゅうたんのようなソバ畑

原営農組合ではソバ畑を約1.4ha栽培。9月下旬から10月初旬に白い花が咲き誇りました。そば粉にして約600kgの収穫が見込まれ、同組合では12月8日、水内河原で「そば祭り」を開催し、多くのの人に楽しんでもらう予定です。

### 地食べ祭inそうじゃ



きびどりのアイスを試験販売

地産地消をPRしようと、「地食べ祭inそうじゃ」が9月28日、サンロード吉備路で開かれました。県内7か所のシルバー人材センターなどが野菜や果物などを販売。子どもからお年寄りまで、多くの人ににぎわいました。